

2016年07月11日

「光ID」技術を用いた情報連携サービス 用途別パッケージの提供を開始

パナソニック株式会社は、可視光通信技術を発展させた当社独自の「光ID」技術^{*1}を用いた情報連携サービスのよりスムーズな導入を目的として、サービス開始時に必要な「光ID」送信機「光ID」プラットフォームサービスを用途別、シーン別に組み合わせたパッケージの提供を、2016年7月下旬から開始いたします。

当社は、2014年12月に、LED光源を高速点滅させることでさまざまな情報を送ることができる可視光通信技術を発展させ、その光源から送信されるさまざまな情報を搭載したID信号〔光ID〕を、スマートフォン^{*2}のイメージセンサーと専用アプリを用いて高速受信する技術を開発しました。本技術は、スマートフォンに専用のアプリケーションソフトをインストールするだけで、受信側のスマートフォンと送信側の「光ID」の送信機器（デジタルサイネージ、LED照明など）の間での「光ID」送受信を可能とするものです。

昨年12月の事業内容の発表以降、一般社団法人銀座通連合会様、東京急行電鉄株式会社様などとの実証実験、東京ビッグサイト様への納入と様々な業種業態のお客様にご協力をいただきながら、当社独自技術の検証を進めてまいりました。今回、用途、利用シーンに合わせた3種類のパッケージとして提供開始することで、市場導入の拡大を目指します。

なお、本サービスについてはパナソニック システムネットワークス株式会社が窓口となり、導入提案から設置、障害時の保守対応まで、万全のサポート体制でお客様の運用を支えます。

今後、このようなパッケージを更に充実していくとともに「イベント」「施設案内」「商品情報配信」「看板広告」等での活用を訴求していきます。

<主な特長>

用途、利用シーンに合わせて3つのパッケージサービスを提供


- 1) 「イベントパッケージ」：期間限定で開催されるイベントで活用し新しい体験を提供
- 2) 「施設案内パッケージ」：美術館や商業施設内で展示品や商品などの情報を提供
- 3) 「広告パッケージ」：デジタルサイネージと連携して商品情報やクーポンなどを提供

*1 当社は「光ID」技術において、登録特許、及び、出願中の特許を多数保有しています。

*2 OSのバージョンやカメラ性能などの利用条件を満たしたスマートフォンに限ります。

【お問い合わせ先】

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話  0120-878-410 (受付:9時~17時30分<土・日・祝日は受付のみ>)

【光ID】技術を用いた情報連携サービスの特長】

「光ID」技術は、QRコードやARマーカ―などの画像読み取り方式とは異なり、受信時に読み取り位置を合わせたり複雑な画像を認識処理したりする手間が不要です。

このため、人混みのなかで対象のコードに近づかなくても離れたところから、起動したスマートフォンのカメラをLED光源またはその光源で照らされた対象物にかざすだけで「光ID」をすばやく受信することができます。

また、Bluetooth®や超音波などを用いた情報送信方式のように電波干渉・音波干渉を考慮する必要がないため、隣接する場所において複数の「光ID」送信機を設置し、多様な情報を提供することが可能です。



「光ID」の送信機器は、従来の可視光通信技術が適用されていた白色照明だけでなく看板照明・ショーウィンドー等の間接光などに加え、デジタルサイネージに用いられる液晶ディスプレイの利用も可能で、幅広いシーンでの活用が見込まれます。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetoothは米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

【光ID】技術を用いた情報連携サービスの基本構成】

本パッケージは、以下の4つで構成されます。

- (1)「光ID」を送信するハードウェア
- (2)お客様のスマートフォンで「光ID」を受け取るための「スマートフォンアプリ」
- (3)「光ID」の発行・登録サービス機能などを提供する「共通プラットフォームサービス」
- (4)ログ解析やコンテンツの切り替え機能などの「アプリケーション」



【パッケージの内容】

用途、利用シーンに合わせて3つのパッケージサービスを提供

多岐にわたる「光ID」技術を用いた情報連携サービスを用途別に構成し、3種類のパッケージをご用意いたしました。これらをお客様の使用環境に応じてカスタマイズすることで、サービス提供までの時間短縮を実現いたします。

1)「イベントパッケージ」:期間限定で開催されるイベントで活用し新しい体験を提供

- ・イベントや展示会などで一斉に情報の発信やスタンプラリーなどによる新しい驚きを提供
- ・期間限定の催しにおける集客力の向上や分析にお役立ち

2)「施設案内パッケージ」:美術館や商業施設内で展示品や商品などの情報を提供

- ・来館者が展示品にスマートフォンをかざすことで、詳細情報の表示や案内の多言語化が可能
- ・案内図にかざすと、現在地やフロアマップを表示。目的地までの道順の表示も可能

3) 「広告パッケージ」：デジタルサイネージと連携して商品情報やクーポンなどを提供

- ・デジタルサイネージとIDを連動することで、消費者を目的のウェブサイトに誘導し、詳しい商品情報やクーポンの発行、購入ページへの移動など、O2O³ビジネスを支援
- ・ログ分析で消費者の嗜好や行動パターンを解析し、よりお客様に評価されるマーケティング活動に貢献

*3 Online to Offlineの略称。オンライン(インターネット)の情報がオフライン(実店舗など)での購買行動に影響すること

3つのパッケージサービス			
利用シーンに沿ったハード～アプリケーションをパッケージ化			
	① イベントパッケージ	② 施設案内パッケージ	③ 広告パッケージ
特徴	期間限定、集客力の向上と分析	顧客がコンテンツを採択、サービス性の向上	各社サイネージ対応、広告価値を向上
利用シーン	 イベント スタッフラリー	 美術館 博物館	 広告板 案内板
パッケージ構成	興味分析 	マップ表示 	サイネージ連動  他、順次対応
	コンテンツスケジューリング 	ローカルサーバー  パブリックサービス クラウド ©保護、サポートメンテ	ログ長期保存 
ハード	送信機 (LED電感看板)  (個別調達)	送信機 (LED電感看板)  1 インフォメーションライト (個別調達)	LEDライトバー  「光ID」対応 ディスプレイ SF1H 700cd/m ² (個別調達)

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。